

科目番号	科目名	担当者名	教養・専門 資格・教職	単位数	選択・必修	開講年次 ・時期
T8	教職実践演習 Seminar on Educational Practice	近藤 茂明 坪田 祐基	教職	2	必修	4年秋
<b>科目の概要</b>						
教育実習を終えた段階で、各自が「教職履修カルテ」と「自己評価シート」に基づき、教職課程の科目の修得状況および教職実践能力を振り返り、公民科専門および教職専門の分野において、自分に不足している具体的・実践的な課題を明確にし、卒業するまでにその補充を行う。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
<p>教員として最低限必要な知識・技能を修得したかを確認する。 教科指導、生徒指導を著しい支障が生じることなく実践できる資質・能力が身についたかを確認する。 教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を持っているかを確認する。</p>			<p>教員として最低限必要な知識・技能を教育の課題に取り組むことができる。 教科指導、生徒指導を実践するための方策を提案することができる。 教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を議論の中で示すことができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	議論やグループワークに積極的に取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	課題を最後までやり遂げることができる。				
考え抜く力	課題発見力	授業や議論の中で出されたテーマについて、自分なりに考えて問題点を発見することができる。				
	計画力					
	創造力	議論やグループワークで、既存の知識にとらわれないユニークな意見を述べるができる。				
チームで働く力	発信力	議論やグループワークにおいて、積極的に発表することができる。				
	傾聴力	授業者や他の受講生の発言を丁寧に聞く。また、その内容を自分に還元することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業でのルールを守る。また、授業者や他の受講生を尊重することができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
<p>テキスト：原田恵理子・森山賢一編著『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版 1600円 参考文献：文部科学省『高等学校学習指導要領』</p>						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
<p>他科目との関連：教職課程の総決算だから、公民に関する専門科目および教職の専門科目すべてに関連がある。 本学部で取得できる資格との関連：高等学校教諭一種免許状(公民)</p>						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
<p>教科書を読んで、次回の演習で行うことの準備をする。 特に、発表などが近づいてきたらその準備を入念に行う。 演習で学習した内容を振り返り、更に理解を深める。</p>			<p>この授業は、文部科学省の指示により、「教職履修カルテ」と「自己評価シート」を作成していない学生は受講することができないので注意すること。 教科書とノートを毎回持参すること。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)		90			①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	
							⑤	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤				
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>A(優)の目安：教職課程に関する振り返りを行い、9割以上理解している。</p> <p>S(秀)の目安：Aの基準に加えて、他の受講者の振り返りにも的確なコメント、質問を積極的にすることができる。</p>	<p>教職課程に関する振り返りを行い、7割程度は理解している。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	教職実践演習とは、今後の課題の確認(近藤) 教職実践演習の説明および「教職履修カルテ」と「自己評価シート」に基づき、自分の課題を明らかにする。	演習	「教職履修カルテ」と「自己評価シート」に基づき、自分の課題を何とか明らかにできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第2章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	教育実習のふり返り(近藤・坪田) 教育実習での課題の確認と、高校教諭になるにあたって自分に不足している点を何とか自己評価する。	演習	教育実習での課題の確認と、高校教諭になるにあたって自分に不足している点を何とか自己評価できた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第3章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	学習指導要領の内容(近藤) 現行の学習指導要領と次期学習指導要領の特徴を調べる。	演習	現行の学習指導要領と次期学習指導要領の特徴を何とか調べることができた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第4章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	学習指導案作成の重要性とその意義(近藤) 実際に高校生に授業をした体験をもとに、あらためて学習指導案の重要性とその意義を確認する。	演習	現行の学習指導要領と次期学習指導要領の特徴を何とか調べることができた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第5章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	学習指導案の作成と授業の展開・工夫(近藤) 自らの学習指導案を題材にして、教材、指導方法、授業の展開、板書計画、評価基準などの改善を行う。	演習	学習指導案の作成と授業の展開・工夫について、何とか理解できた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第6章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	模擬授業(近藤・坪田) 教育実習で行った研究授業を更に向上させた授業を全員が実施する。	演習	教育実習で行った研究授業を更に向上させた授業を何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第7章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	道徳教育と特別活動(近藤) 教育現場における道徳および特別活動の現状について教育実習を振り返りながら再度その意義を考える。	演習	道徳教育と特別活動について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第8章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	子どもの発達の理解(坪田) 授業で学んだ発達の理論と、教育実習での実践経験をもとに、子どもの発達の過程や、それに応じた教育・支援についての理解を深める。	演習	子どもの発達について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第9章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

回数	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	生徒指導と教育相談(坪田) 授業で学んだ生徒指導や教育相談の理論と、教育実習での実践経験をもとに、不登校、人間関係の問題などへの理解を深める。	演習	生徒指導と教育相談について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第10章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	特別支援教育(坪田) 特別支援教育に必要な、発達障害や個別支援計画についての知識を深める。	演習	特別支援教育について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第11章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	学級経営のあり方について(近藤) 教育実習における体験に基づき、学級経営に関するクラス担任の責任と業務について改めて考える。	演習	学級経営のあり方について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第12章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	教師のコミュニケーション力(坪田) 教師にとって必要なコミュニケーション能力や、学級の組織と職務及び教職員の協働関係を理解する。	演習	教師のコミュニケーション力について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第13章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	保護者・地域社会への対応について(坪田) 学校・家庭・地域社会の連携とその中での中・高教諭の役割を理解する。	演習	保護者・地域社会への対応について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第14章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	教師としての使命感・責任感、倫理観、教育的愛情(近藤) 教育実習の体験に基づき、教師としての使命感、生徒に対する責任感、倫理観、教育的愛情について、改めて考える。	演習	教師としての使命感・責任感、倫理観、教育的愛情について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを見直す。 予習:教科書の第15章を読み、質問を考える。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	教師の力量とキャリア形成ー自己成長の重要性(近藤) 教育実習の体験に基づき、反省的省察の概念を軸に、教師の力量とは何か、自己成長とは何か、改めて考える。	演習	教師の力量とキャリア形成について、更に理解を深めることが何とかできた。	復習:教科書、プリント、ノートを総復習する。	180	主体性 実行力 課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: ①主体性 ②働きかけ力 ③実行力 ④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力 ⑦発信力 ⑧傾聴力  
⑨柔軟性 ⑩情況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力